

# ひょうごの 遺跡

平成23年(2011)

12月28日発行

81  
号

〒675-0142 兵庫県加古郡播磨町大中1-1-1

TEL. 079-437-5589 FAX. 079-437-5599

ホームページアドレス

<http://www.hyogo-koukohaku.jp/>

兵庫県立考古博物館



市ノ郷遺跡 弥生土器（姫路市）



田ノ口遺跡 和鏡（丹波市）

## 特集◎企画展

## ひょうごの遺跡 vol.4 — 調査研究速報 —



西脇丸山1号墳 装身具（姫路市）



神出鴨谷3号窯 須恵器（神戸市西区）



# 特集 企画展 ひょうごの遺跡 vol.4 -調査研究速報-

本展は、遺跡の発掘調査から報告書作成までの過程で、調査研究によって明らかとなった兵庫県の歴史の一端を、いち早く公開するため開催します。

今回は、平成22年度に刊行された発掘調査報告書の中から18遺跡を紹介するとともに、平成23年度に行われた発掘調査の成果もあわせて速報展示します。

## 播磨

### ◆溝や河跡に埋もれた大量の弥生土器

いちのこう  
市之郷遺跡 姫路市市之郷 弥生時代 1世紀

市川西岸の市街地にある流域を代表する集落遺跡です。  
調査区内には河川や溝が幾筋も流れており、大量の弥生土器がまとめて捨てられていました。これまでの調査で、竪穴住居跡や墓跡などが、少し離れた場所から発見されており、弥生時代の集落の範囲が明らかになってきました。



弥生土器



祭祀に使われた土師器

### ◆古墳時代の祭祀遺物が一括出土

こうたか・みぞのこし  
河高・溝ノ越遺跡 加東市河高 古墳時代 4～5世紀

加古川西岸の自然堤防上に立地する遺跡です。古墳時代の方形竪穴住居跡1棟から、壺、甕、高杯などの土師器が大量に出土しました。孔のあけられた小型丸底壺や手捏土器、刀子などもあります。

これらは、須恵器が普及する直前の時期（4世紀末～5世紀初頭）に、神まつりの道具として使用され、一括廃棄されたものです。

### ◆県内初出土 金銅製空玉

にしわきまるやま  
西脇丸山2号墳 姫路市西脇 古墳時代 6世紀末

姫路市の太市地区にある横穴式石室をもつ径約20mの円墳です。墳丘はほとんど原形をとどめておらず、石室の天井石も残っていませんでした。

平安時代以降の再利用や盗掘などにより、石室内部は荒らされていましたが、たくさんの玉が出土しました。兵庫県では初例となる金銅製空玉のほか、水晶製切子玉、碧玉製管玉、琥珀製小玉、緑・青緑・紺・黄色のガラス小玉、それに金箔や銀箔を貼った耳環など、多彩な装身具が目を引きま



県内初出土の金銅製空玉

註）遺跡の時代は、展示資料に関する時代だけを記しています。



## ◆水田の下に眠っていた古墳群

てんのうざんこふんぐん

天王山古墳群 加古川市八幡町 古墳時代

7世紀前半



須恵器

加古川東岸の丘陵尾根上に築造された古墳時代後期の群集墳です。墳丘は開墾で削られ、残っていませんでしたが、水田の下から4基の円墳（2～5号墳）が見つかりました。いずれも横穴式石室をもち、墳丘には幅1～2mの周溝が巡ります。2～4号墳には石室から外に向かう墓道も確認できました。

古墳の発見された状況から、他にも多くの古墳が周囲にあったと考えられます。7世紀代になってもなお古墳の築造が盛んに継続されていたことを物語るものでしょう。

## ◆中世の大窯業地の始まりは10世紀初め

かんでかまあとぐん

神出窯跡群 神戸市西区神出町 平安時代

10～12世紀

神出窯は平安時代から鎌倉時代にかけての国内きっての窯業地で、鉢を特産化し西日本各地に供給していました。その製品は遠く関東や九州にまでも運ばれています。

これまでは神出窯の始まりは11世紀中ごろと考えられていましたが、今回の鴨谷支群の発掘調査で、10世紀初めまで遡ることがわかりました。さらに、初期の碗や杯など小型の日常雑器から鉢・甕を主体とした生産品への転換、瓦生産の導入など中世神出窯の成立過程の様相も明らかになりました。

特に注目されるのは鴨谷2号窯と3号窯から「王作上宮御料」・「□殿御料」などの文字が刻まれた甕の破片が数点出土していることです。「宮」は皇族の御殿、「殿」は貴人の邸宅を指します。「御料」は物品のことですから、刻まれた文字は「皇族または貴族の邸宅への御用達の品（甕）」という意味をもちます。これらの刻書文字資料は、神出窯の成立発展の背景に時の権力者との密接な関係があったことを示しています。



瓦を焼いた梶谷1号窯



鴨谷1・2号窯全景



へう書きのある甕



## ◆南朝・北朝の争乱、<sup>たんじょうざん</sup>丹生山攻めの「<sup>しじみぐんじん</sup>志染軍陣」か

<sup>よしだすみよしやま</sup>吉田住吉山遺跡 三木市志染町 南北朝時代  
14世紀

<sup>みのう</sup>美囊川の支流、<sup>しじみがわ</sup>志染川に向かって張り出した高さ24mほどの尾根上に築かれた山城跡です。<sup>しゅかく</sup>主郭・<sup>おびぐるわ</sup>帯曲輪・<sup>よこぼり</sup>横堀・<sup>ほりきり</sup>堀切・<sup>どるい</sup>土塁・<sup>からぼり</sup>空堀などがよく残り、主郭と堀切からは多くの遺物が出土しました。

70m×40mもある広く平坦な主郭の周囲には、帯曲輪と横堀、三重の土塁と空堀を巡らせ、厳重に守りを固めています。志染川に面した東側は深さ9mもある堀切で敵の侵入を阻み、山側や尾根側面には小さな曲輪や帯曲輪を配するなど、自然地形も利用して巧みな城造りがなされています。

南北朝の争乱では、暦応元年(1338)前後に、<sup>たんじょうざん</sup>丹生山(神戸市北区山田町)に籠もった南朝方に対し、赤松円心を主将とした北朝方が攻めます。吉田住吉山遺跡はその拠点となった「志染軍陣」と考えられます。

土師器皿や煮炊用の鍋、貯蔵用大甕、多量の鉄釘、鉄鎌・短刀・小札などの武器・武具など、豊富な出土品が南北朝期の軍営地の様子を物語っています。



大規模な主郭と横堀・土塁



鎧の小札

## ◆姿を見せた中世山陽道の宿<sup>しゆく</sup>

<sup>やまのさとしゆく</sup>山野里宿遺跡 赤穂郡上郡町山野里 室町時代  
15世紀

千種川支流の<sup>やすむろ</sup>安室川に面した微高地上に立地する15世紀後半の遺跡です。

上郡町は古代には山陽道の駅家が、中世以降には「宿」が置かれました。また、赤松氏の軍事的拠点としても重要な場所でした。

重なり合い密集する30棟もの掘立柱建物跡は、限られた区画内で建て替えを繰り返す都市的な様相を示しています。

調査で見つかった川跡からは、備前焼や土師器碗・皿が多数出土しています。瓦は赤松円心が菩提寺として建立した法雲寺の瓦と同文です。また、類例の少ない中国製灰釉陶器などの輸入陶磁器やタイ・スズキなど高価な海産物の骨が出土していることから、この地域の有力者である赤松氏との関係の深さがうかがえます。



備前焼や土師器皿、瓦など



## ◆中堅クラス家臣の屋敷跡

あかしじょうぶけやしきあと  
明石城武家屋敷跡 明石市大明石町 江戸時代  
17～18世紀



武家の台所用品

明石城の南側を中心に展開する武家屋敷のうち、内堀南西隅から南へ100 mほど離れた一画を調査しました。調査箇所は天和2年（1682）以降では、禄高200～100石、中クラスの家臣の屋敷地で、外山家、大野家、高武家<sup>たかたけ</sup>などと変遷しています。

屋敷地の中央付近には礎石建物が建ち、建物の裏手の土坑（ゴミ穴）からは肥前系、瀬戸系、京焼系、丹波系、明石系などの陶磁器や土師器、鉄釘、包丁などが見つかっています。

## ◆<sup>れんが</sup>煉瓦で造られた山陽鉄道の初代機関車用転車台坑

とうふまち  
豆腐町遺跡 姫路市豆腐町 近代 19～20世紀

J R 姫路駅構内に広がる豆腐町遺跡は奈良時代の播磨<sup>しかまぐんが</sup>国府関連遺跡あるいは飾磨郡衙の一部と考えられる遺跡です。

その一画で、明治21年（1888）に開業した山陽鉄道で用いられた転車台（ターンテーブル）坑が発見されました。転車台坑は煉瓦をイギリス積み<sup>イギリス積み</sup>にして造られ、内径12.3 m、基礎から最上段まで17段、約1.5 mの高さがあります。この上で兵庫駅と姫路駅を往来した蒸気機関車が方向を転換した、まさに日本の近代化を象徴する遺構です。



転車台坑の刻印煉瓦（「煉」「化」「製」「造」「部」）

## 撰 津



西宮の市街地を彩った煉瓦やタイル

## ◆タイルが語る港湾都市、西宮の近代化

にしのみやじんじゃとう  
西宮神社社頭遺跡 西宮市社家町ほか 近代  
19～20世紀

中・近世の戎信仰の流行とともに、全国的に知られるようになった西宮神社とその東側に広がる遺跡です。

西宮の町にも明治末頃から近代建築の潮流が見られるようになり、煉瓦やタイルが導入され、町の景観を飾りました。出土品は明治時代～昭和30年代頃のもので、煉瓦は個人住宅に伴う花壇や塀などに、タイルは内装や外装、庭園などに使われたようです。



## ◆猪名川上流域の中世集落

きたたはら・みなみたはらじょうりいこう  
北田原・南田原条里遺構

川辺郡猪名川町南田原

平安～鎌倉時代

12～14世紀

中世の猪名川町域は、源満仲<sup>みなもとのみつなか</sup>が創建したと伝わる多田院<sup>ただいん</sup>の荘園として開発が進められました。

遺跡は猪名川西岸の段丘上に立地しており、川岸に隣接した調査地からは、掘立柱建物跡や屋敷墓と想定される集石土坑が発見されています。

土師器や瓦器、須恵器、中国産の磁器などが出土していますが、大阪府の能勢郡域と同様に、須恵器の碗が無く、瓦器碗を代用品としています。



瓦器碗と土師器小皿

## 丹波



田ノ口遺跡から下流側を望む

## ◆丹波国最西端の大規模な中世集落

たのくち  
田ノ口遺跡

丹波市青垣町遠坂 平安～鎌倉時代

11～14世紀

奈良の都と山陰地方をつなぐ古代山陰道は遠坂峠を抜けて丹波から但馬に至ります。峠の手前、山が迫った狭隘な谷に立地する集落遺跡です。

100棟もの掘立柱建物や床面積が100㎡を越える大型の総柱建物<sup>そうばしらたてもの</sup>と屋敷墓、経塚、鍛冶炉などは、周辺の集落にも影響力を持つような有力な在地領主が存在したことを物語っています。豊富な輸入陶磁器もその力の大きさを示すものでしょう。

## ◆交通要衝に立地する律令期の集落

ひらの  
平野遺跡

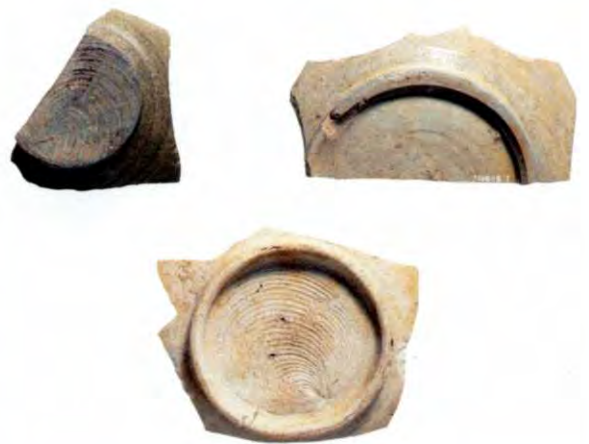
丹波市青垣町中佐治 平安時代

8～9世紀

古代山陰道から分岐し、峠を越えて京都丹波（福知山市）へ抜ける小さな谷にある小規模な集落遺跡です。

平安時代を中心とする掘立柱建物が9棟復元されており、緑釉陶器<sup>りょくゆうとうき</sup>、灰釉陶器<sup>かいゆうとうき</sup>、墨書土器<sup>ぼくしょどき</sup>、製塩土器<sup>せいえんどき</sup>など役所で使われるような遺物も出土しています。

建物の大きさから、有力な名主が存在したことが想定されます。しかし、集落の規模や継続性から見て、田ノ口遺跡クラスの更に有力な集落に従属する集落と考えられます。



緑釉陶器、灰釉陶器





出土土器

## 姿を見せた石清水八幡宮の荘園「鳥飼荘」

とりかいなかせ きたやま  
鳥飼中瀬遺跡 北山遺跡

洲本市五色町鳥飼 鎌倉～室町時代 12～14世紀

播磨灘に注ぐ鳥飼川の北岸、河口近くの段丘上に立地しています。付近は、平安時代後期～室町時代中期に石清水八幡宮（京都府八幡市）の荘園「鳥飼荘」が置かれていました。

23棟の掘立柱建物や柵、土坑などが発見されており、荘園に関連する集落の一部と考えられます。

## 室町時代後半の集落跡

しらいけ すみだ たけのはな  
白池遺跡 隅田遺跡 竹ノ鼻遺跡

洲本市五色町鳥飼中ほか 室町～安土桃山時代 15～16世紀

鳥飼川北岸の段丘上に立地しており、鳥飼中瀬遺跡や北山遺跡よりも少し川上になります。

柱穴や浅い溝が見つかり、「鳥飼荘」に関連する集落が次第に廃れはじめた頃に成立した小規模な集落と考えられます。



竹ノ鼻遺跡の輸入陶磁器



京都系の土師器皿

## 山名氏が出石川沿いに築いた支城

とりいじょうあと  
鳥居城跡 豊岡市出石町鳥居 戦国時代 16世紀

眼下に出石川を望む眺望の良い尾根の先端に築かれた小規模な山城跡です。山名氏の居城、此隅山城へは1km、  
ありこやまじょう  
有子山城へは3kmと至近距離にあります。調査範囲はごくわずかですが、曲輪や堅堀から京都系の土師器皿が出土しており、山名氏と直接関連する城跡と考えられます。

## 香美町で初めて発見された木棺直葬墳

もっかんじきそうふん  
やまたにふんぼぐん  
山谷墳墓群 美方郡香美町香住区油良 古墳時代 7世紀

矢田川最下流部の丘陵先端に築かれた3基の古墳です。尾根の稜線を削って設けた段状の平坦面に穴を掘り、木棺に入れた遺体を埋葬していました。このような木棺直葬の古墳は香美町では初例です。棺の内外には、須恵器や鉄刀、鉄鏃、鉄斧が副葬されていました。



鉄刀・鉄鏃・鉄斧



ひょうごの  
遺跡

調査研究速報

vol. 4

平成 24 年

1月28日土 ~ 4月8日日

■観覧時間：9:30 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)

■休館日：月曜日

■会場：兵庫県立考古博物館 特別展示室

■観覧料金：大人 200 円 (160 円)、大学生 150 円 (120 円)、高校生 100 円 (80 円)

※( ) 内は 20 名以上の団体料金・中学生以下は無料

※障害者およびその介護者、65 才以上の方は半額

展示解説 会期中の日曜日 13:30 ~ 14:00



## 展示遺跡の位置

- |                         |                   |
|-------------------------|-------------------|
| ① 山谷墳墓群 (香美町)           | ⑱ ヤケヤノ坪遺跡 (篠山市)   |
| ② 鳥居城跡 (豊岡市)            | ⑲ 西岡屋遺跡 (篠山市)     |
| ③ 田ノ口遺跡 (丹波市)           | ⑳ 波賀野遺跡 (篠山市)     |
| ④ 平野遺跡 (丹波市)            | ㉑ 広根遺跡 (猪名川町)     |
| ⑤ 北田原・南田原条里遺構 (猪名川町)    | ㉒ 坂本・土井畑遺跡 (多可町)  |
| ⑥ 西宮神社社頭遺跡 (西宮市)        | ㉓ 明石城下町町屋跡 (明石市)  |
| ⑦ 河高・溝ノ越遺跡 (加東市)        | ㉔ 有年牟礼・井田遺跡 (赤穂市) |
| ⑧ 吉田住吉山遺跡 (三木市)         | ㉕ 横入遺跡 (淡路市)      |
| ⑨ 神出窯跡群 (神戸市西区)         |                   |
| ⑩ 明石城武家屋敷跡 (明石市)        |                   |
| ⑪ 天王山古墳群 (加古川市)         |                   |
| ⑫ 市之郷遺跡 (姫路市)           |                   |
| ⑬ 豆腐町遺跡 (姫路市)           |                   |
| ⑭ 西脇丸山 2 号墳 (姫路市)       |                   |
| ⑮ 山野里宿遺跡 (上郡町)          |                   |
| ⑯ 鳥飼中瀬遺跡・北山遺跡 (洲本市)     |                   |
| ⑰ 隅田遺跡・白池遺跡・竹ヶ鼻遺跡 (洲本市) |                   |

● 平成 22 年度の  
主な報告書刊行遺跡● 平成 23 年度の  
主な発掘調査遺跡

## 関連行事 講座 兵庫考古学研究最前線

1月28日(土)「消えた中世の大窯業地ー神出窯のルーツを探るー」 森内秀造 (調査第2課長)

2月11日(土)「南北朝時代の城と戦いー丹生山の攻略と吉田住吉山遺跡ー」 池田征弘 (当館学芸員)

2月25日(土)「地形環境と土地利用の関係を考えるー市之郷遺跡の調査からー」 山田清朝 (当館学芸員)

3月10日(土)「祭祀遺跡研究百年史」 大平 茂 (調査第1課長)

13:30 ~ 15:00 (受付 13:00 より) 会場：当館講堂 定員 120 名 無料・当日受付

## 発掘調査速報会

3月24日(土) 13:30 ~ 16:00 (受付 13:00 より) 会場：当館講堂 定員 120 名 無料・当日受付

## 会期中のイベント

2月 5日(日)「ー節分ー 鬼瓦のお面で鬼退治」 13:30 ~ 15:00 無料 25 名 予約優先

3月 3日(土)「ーひなまつりー ハニワのおひな様を作ろう」 13:30 ~ 15:00 無料 30 名 予約優先

3月17日(土)・18日(日)「考古博であそぼう」 11:00 ~ 15:30 観覧料の必要なものあり

3月25日(日)「新ひょうご風土記 巨大カルタ大会」 14:00 ~ 15:30 無料 (雨天中止)

予約・お問い合わせ：学習支援課 079-437-5564 (予約は 1 ヶ月前から)

## 編集後記

今年度も「ひょうごの遺跡」展を開催します。発掘調査が完了してから長い時間が経過している遺跡もありますが、調査研究を進め、発掘調査報告書で公開した研究成果をご覧いただきたいと思います。今回は本年度に発掘調査が行われた遺跡の出土品も速報展示しますので、あわせて地域の歴史に思いをはせていただければ幸いです。

